

2017年1月号の月刊美術46P、146pに『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました。



山崎カズヒコ《霜月》4F
パステルほかミクストメディア、画用紙 2016年



鈴木那奈《追憶》116.7x116.7cm キャンバスに油彩 2016年



すずき・なな
現在、京都造形芸術大学大学院芸術環境専攻 美術・工芸領域洋画分野在学中
▶1月7日～13日・かわうそ新春展に参加、6月4日～10日・同画廊にて鈴木那奈初個展



やまざき・かずひこ
1993年武蔵野美術大学卒業。バックパッカーとして海外放浪、2000年帰国。以後個展、グループ展多数。
▶1月14日～20日・同画廊にて山崎カズヒコ個展「面影」

画廊&展示予定
銀座かわうそ画廊
☎03 (3535) 3931
東京都中央区京橋3-6-21
十合ビル3F
http://kawausogarou.com

鈴木那奈は筆跡の残るタッチ、モノトーンを基調としたどこかノスタルジックで哀惜を帯びた人物画が共感を呼んでいます。山崎カズヒコは水彩とパステルと墨を使ったみずみずしい人物画が人気。どちらも飛躍の年になると確信しています。(二宮真理子)

新春展と個展に期待！ 活躍必至の2人の新人が登場

鈴木那奈

Nana SUZUKI

山崎カズヒコ

Kazuhiko YAMAZAKI



鈴木那奈は自分自身と姉をモデルにすることで、等身大の現代女性像を描く。横たわったり俯いたりする仕草の美しい女性に、どんな物語があったのだろうかと思像も膨らむ。美肌の表現と陰影の妙が魅力の、今年初個展を開催する期待の新人。

山崎カズヒコはインドネシア在住を経て、帰国後に画家として活動。ため息や呼吸をそっと画面の上に再現し、人物の心の中に潜む思いを伝える。「私の作品は肖像画ではなく、その記憶のイメージを表現しています」と画家。新春、「面影」と題する個展で儂くも美しい絵画世界が開かれる。

2017年1月号の月刊美術46P、146pに『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました。

巻頭特集
イチオシ作家2017
今年注目の60人

画廊イチオシ作家

16 日本画の新人と精鋭たち
大沢拓也／高島圭史／磯部光太郎／
中村英生／田口由花／井手康人／
中出信昭／平良志季／繭山桃子ほか

32 写真&洋画の注目株
藤原秀一／石田淳一／亀山裕昭／
松本実桜／光元昭弘／小柳吉次ほか

44 現代美術&凄腕工芸
財田翔悟／山崎カズヒコ／土田圭介／
山田航平／原田圭／川村紗耶佳／
榎木佳子／中村公之／佐野藍ほか

30 永井龍之介インタビュー
新人発掘の意義とは

39 没後20年。
芸術遺産として見直す
池田満寿夫

40 日本テンペラ画の第一人者、
田口安男が30年ぶりの東京個展

42 コレクターおすすめの名作家
門田光雅／原崇浩／鈴木紗也香ほか

54 デビュー展出身の4作家
行晃司／潮田和也／遅野井梨絵／小林智

月刊美術

構成：MIKAN-DESIGN／重実生哉／ADARTS